

|                |  |           |               |       |                    |
|----------------|--|-----------|---------------|-------|--------------------|
| 学校<br>教育<br>目標 | ○自ら学ぶ子<br>知:自ら進んで学習に取り組み、見方・考え方を働かせ、友達と協働して解決に向かって学び続ける子を育てます。(学び続ける子)<br>徳:多様な人とのかかわりを通して思いやりの心をはぐくみ、自分や相手を大切にすることを育てます。(共に生きる子)<br>体:自分の体や心に関心を持ち、健康的な生活を送ろうとする子を育てます。(健やかな子)<br>公:地域の材に学びながら地域に愛着を持ち、地域に進んでかかわろうとする子を育てます。(浦島の子)<br>開:多様な人とのコミュニケーションを通して視野を広げ、持続可能な社会の創造に向け行動しようとする子を育てます。(未来を創る子) |           |               |       |                    |
|                | 創立 107 周年  | 学校長 金子 博美 | 副校長 北嶋 涼子     | 2 学期制 | 一般学級: 19 個別支援学級: 5 |
| 学校<br>概要       | 児童生徒数: 559 人   |           | 主な関係校: 浦島丘中学校 |       |                    |

|                          |                                    |  |
|--------------------------|------------------------------------|--|
| 教育課程全体で<br>育成を目指す資質・能力   | 〇〇中<br>ブロック                        | 小中一貫教育推進ブロックにおける<br>育成を目指す資質・能力を踏まえた<br>「9年間で育てる子ども像」と具体的取組  |
| <課題解決能力><br><自分づくりに関する力> | 浦島丘中学校<br>浦島小学校<br>子安小学校<br>神奈川小学校 | 人とのつながりを大切にし、ねばり強く社会を生きぬく子<br><br>・9年間で育てる子ども像を共通理解していくために、小中担当者会で取組について話し合ったり、年間2回の授業研究会で子どもの姿をもとに協議を行ったりする。<br>・児童生徒交流日等を通して、6年児童が中学校生活を理解し、スムーズに中学校生活をスタートできるようにする。 |

|                |  |
|----------------|--|
| 中期<br>取組<br>目標 | <p>○育成を目指す資質能力を意識し、課題解決的な学習活動に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの思いを大切にし、子どもたちが自ら課題を設定し、解決するための学び方を身に付けられるようにします。</li> <li>・話し合い活動を通して、子どもたちが考えを広めたり深めたり、解決策を導き出したりする力を付けます。</li> <li>・対話的な活動を通してコミュニケーション力を身に付けるようにします。</li> </ul> <p>○「わかった」「できた」の経験や人との関わり、自己選択、自己決定等を通して、子どもたちの自己肯定感を高めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが安心して自分らしさを発揮できる環境をつくります。</li> <li>・教職員が子どもたちの自己肯定感を高めるための手立てについて共通理解を図ります。</li> <li>・子どもたちの具体的な姿を見取り価値づけます。</li> </ul> |
|----------------|--|

| 重点取組分野             |                  | 具体的取組  |
|--------------------|------------------|--|
| 知                  | 授業改善             | ①タブレットを有効に活用し、子どもたちが自らの学びを選択、決定できるようにする。<br>②他者と協働する学習や課題解決的な学習を通して、子どもたちのコミュニケーション力を高めるとともに、子どもたちができた、わかったをたくさん経験できるようにする。  |
| 担当                 | 重点研推進委員会         |  |
| 徳                  | 人権教育             | ①子どもたちの思いを大切に児童会活動、たてわり活動、学年や学級での活動などを通して、自分も周りの人も大切にすることができるようになる。<br>②学級で子どもたちの思いをもとに人権にかかわる目標を立て、他者を大切に温かい学級風土をつくる。   |
| 担当                 | 人権福祉・たてわり        |  |
| 体                  | 健康教育             | ①体育の学習では、運動量や時間を確保し、子どもたちが思い切り体を動かした満足感や、できた、上達したという達成感を味わうことができるようにする。<br>②体育の授業や体力テストの結果、子どもたちの思いを大切にすくすく会議などを通して、子どもたちが自らの体力の向上と、心と体の健康のために行動できるようにする。                            |
| 担当                 | 体育・保健            |  |
| 公開                 | 地域連携             | ①地域の人や関係機関、幼保とのつながりを大切に学習を子どもたちと共につくり、地域のひとやもの、ことから学ぶ。<br>②学校運営協議会、地域学校協働本部、PTA、かめの子クルーなどと連携し、教育活動の充実を図る。  |
| 担当                 | 生活・総合、幼保小        |  |
| いじめへの対応            |                  | ①いじめを生まない温かい学級、学校風土づくりや毎日の健康観察(スタナビの活用)、定期的なアンケート、YPの活用、児童が教員に相談しやすい環境づくり、いじめ防止に関する児童同士の話し合いなどのいじめの未然防止に取り組む。<br>②学校として組織的な対応をしていくとともに、学校の取組について発信し、保護者や地域の方々と共に、子どもたちの健やかな成長を支えていく。 |
| 担当                 | 児童指導部・いじめ防止対策委員会 |  |
| 人材育成・<br>組織運営(働き方) |                  | ①互いに学び合い、高め合う教職員集団として、互いの授業を見合ったり、日常的に授業や子どもたちのことについて語り合ったりする。<br>②教職員の心身のゆとりを生み出し、日々の教育活動の充実や子どもたちの成長につなげていくことができるように、教育活動や業務の精選、見直しを図る。教職員の働きがいを高める。                               |
| 担当                 | キャリア研究・メンター      |  |
| 特別支援教育             |                  | ①児童本人や保護者の思いに寄り添い、一人ひとりの興味関心や実態、ニーズに応じた支援をする。個に応じた支援として、タブレットを効果的に活用する(音声入力、ノートテイキング、アプリなど)。<br>②さわやか教室や国際教室を、利用する児童の自己肯定感を高め、より安心できる場所にする。  |
| 担当                 | 特別支援             |  |
| 安全管理               |                  | ①安全管理マニュアルに基づいた避難訓練を行い、教職員の危機対応能力を高めると共に、子どもたちに自らの安全を確保するための判断力や行動力を育成する。<br>②安心安全な教育環境を保つために、日常的な環境の整備、点検、情報共有を行う。  |
| 担当                 | 安全・環境            |  |
| a14                |                  | b9   |
| 担当                 |                  |  |
| a15                |                  | b10  |
| 担当                 |                  |  |